

コスタリカを知れば
希望が湧いてくる！

～「コスタリカ」の著者が語る



2024年5月15日

所沢

国際ジャーナリスト

伊藤千尋

貧しい開発途上国なのに 4つの大国に



平和大国
教育大国
環境大国
人権大国

Costa Rica (スペイン語で「豊かな海岸」)

太平洋とカリブ海に面した熱帯の火山国
面積は北海道の6割、人口は550万人



首都サンホセの街角で



市場



＜農業の国＞
バナナ
コーヒー
パイナップルなど



コスタリカ憲法（1949年）

第1条 コスタリカは自由かつ独立の民主共和国である。

第12条 常設の組織としての軍隊は、これを禁止する。
公の秩序の維持に必要な警察力は保有する。
軍事力は大陸内の協定または国内防衛のため
のみ組織できるが常時、文民の権力に従属する。

本当に軍隊をなくした。

軍艦、戦闘機、戦車はゼロ

12月1日は 軍隊廃止記念日

UCR FE Facultad de Educación EOEE Escuela de Orientación y Educación Especial

01 DE DICIEMBRE 2022

¡Día de la *Abolición*
del *Ejército*
en Costa Rica!

"Dichosa la madre costarricense
que sabe, al dar a luz, que su hijo
nunca será soldado"
-Ryoichi Sasakawa

攻められたときの対処

1. 現場で国境警備隊が対処する
(2015年、ニカラグア軍が国境侵犯)
2. オランダの国際司法裁判所に訴える
(ニカラグアを訴え、コスタリカが勝った)

国家の武装組織の3段階

- 警察—社会の治安維持
国境警備隊—専守防衛、領土保全、密輸取り締まり
軍隊—他国と戦う
- コスタリカ(人口500万人)
警察(6500人)
国境警備隊(3300人) 計9800人
軍隊 0人
- 日本(人口1億2700万人)
警察(28万人)
国境警備隊(海上保安庁)(1万3000人)
軍隊(自衛隊)23万人(予算規模は世界7位)





平和憲法を制定した フィゲールス大統領と カレン夫人



国立歴史博物館、元軍司令部



「武器は勝利をもたらすが、 法のみが自由をもたらす」 ＝立憲主義の宣言



永世積極的非武装
中立宣言(1983年)
の1周年記念集会

モンヘ大統領



積極的な平和外交をした
アリアス大統領
1987年ノーベル平和賞



「平和憲法を持つ国は、自分だけが平和で満足してはならない。世界を平和にするのが平和国家の役割だ」

「最も良い防衛手段は、防衛手段をもたないことだ」

国連核兵器禁止条約 2017年7月、賛成122で採択、 日本は不参加

提案国コスタリカ
議長国コスタリカ



なぜ軍隊をなくしたのか

- ①戦争したことへの反省
(1948年、約2000人死亡)
- ②クーデターを防ぐ
- ③軍事費にカネがかかりすぎる
(年間予算の30%を占めていた)



→何にかネを使えば
社会は発展するのか？

教育だ！

軍事費を教育費にあてた

＜軍隊廃止時のスローガン＞

- 兵士の数だけ教師をつくろう
- 兵舎を博物館にしよう
- 武器をバイオリン
に替えよう



年間予算の30%が教育費
義務教育は13年間
幼稚園から高校まで
大学の学費も格安、70%が奨学金



公教育省グロリアさん

- わが国の**教育の目的**は、だれもが一人の人間として意識でき、**何よりも本人が幸せであること**。
- **わが国は人権の国**です。
他人の権利を認めることが
平和につながる。
- 自分と同じく**他人の人生を**
人間として尊重することから
民主主義が生まれる。



机が台形＝対話型の授業



幼稚園から平和教育

1. 自分との平和

問題をポジティブに解決する

自分が平和でなければ他人を平和にできない

2. 他人との平和

他人の権利を尊重する行動を示す

自分が孤立するのは平和ではない

自分の存在が周囲をよくすることが平和の基礎

3. 自然との平和

周囲のすべての人、宇宙に対する責任

私たちは一人ではない、つながって生きている

市民教育の教科書

「まず個人がそれぞれの平和を確立すること」

（「国家の平和」ではなく「個人の平和」が原点）

「国家を統治している多くの人々は、ある一つの似通った、嫌な考えを持っています。権力を失うことを恐れています。裏切り、不誠実なスピーチを聞く機会がたくさんあります。金持ちの国家、政府は、その富を貧しい人々と分かち合わなければなりません」

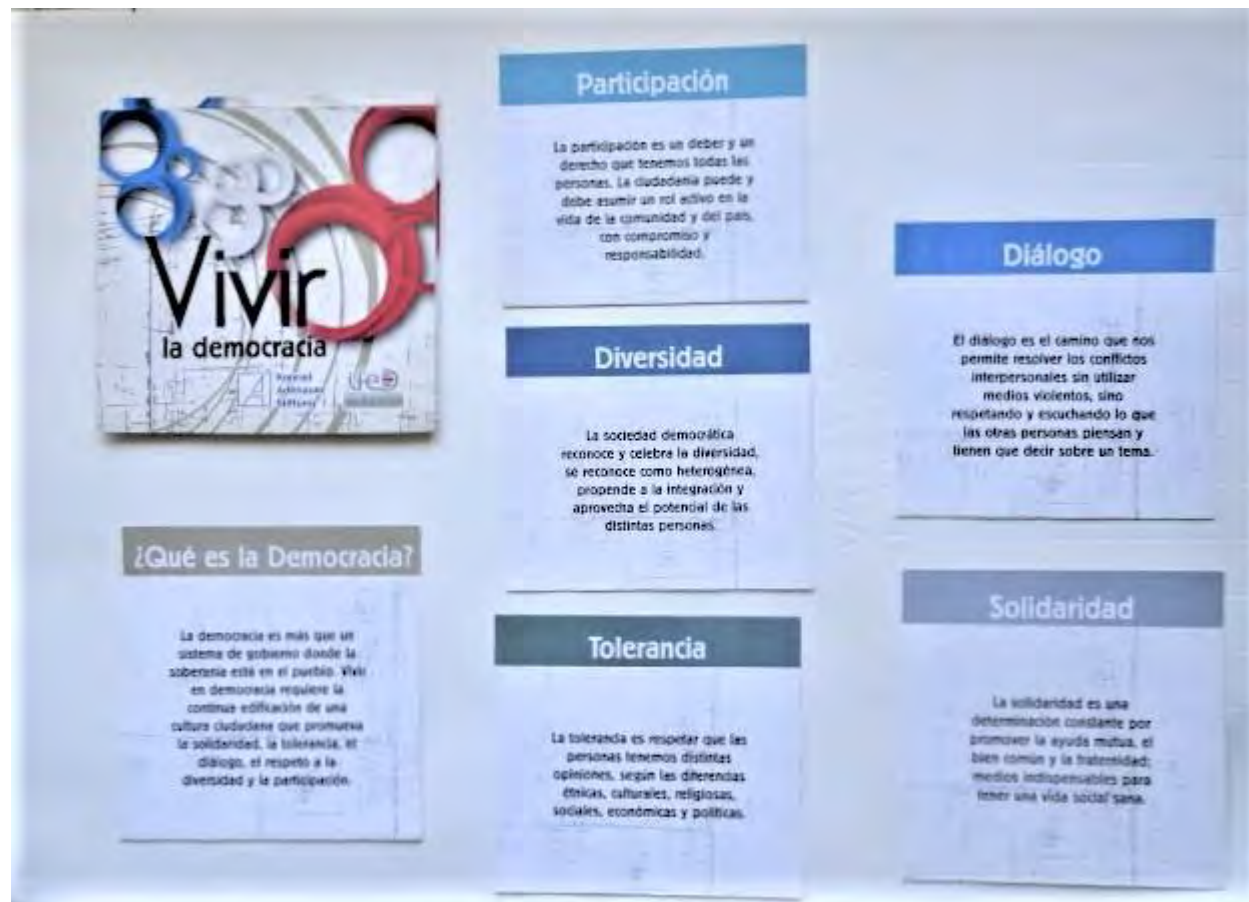
選舉最高裁判所 民主主義教材



「民主主義とは何か？」

カード教材

1. 参加
2. 多様性
3. 寛容性
4. 対話
5. 連帯



専門学校の選挙管理委員会

生徒会選挙

生徒に政党をつくらせ、政策で選ぶ



大統領選

子どもの模擬投票 選挙ボランティア



世界に平和を 広める努力

1980年 国連平和大学



University for Peace



The University is established with a clear determination to provide humanity with an international institution of higher education for peace and with the aim of promoting among all human beings the spirit of understanding, tolerance and peaceful coexistence, to stimulate cooperation among peoples and to help lessen obstacles and threats to world peace and progress, in keeping with the noble aspirations proclaimed in the Charter of the United Nations.



小学生も違憲訴訟する

小学校に入学してすぐに習うのは
「誰もが愛される権利を
持っている」



憲法裁判所

年間に3万5千の違憲訴訟
窓口は24時間、365日開く
子どもの違憲訴訟が年間1750件

君が代訴訟がコスタリカだったら？





大統領を憲法違反で
訴え勝訴した大学生
ロベルト・サモラ君
(2004年)

「憲法が危機に陥った
とき、国民には闘う責
任がある」(2017年)

コスタリカのモットー
「だれも排除しない」
隣のニカラグアの難民
100万人を受け入れ



国会



日本との違い

- 完全比例代表制で、連続再選禁止
=今の議員は次の選挙に立候補できない
- ☆国会57議席のうち、女性議員が28人
女性議員は49%（日本は10%以下）



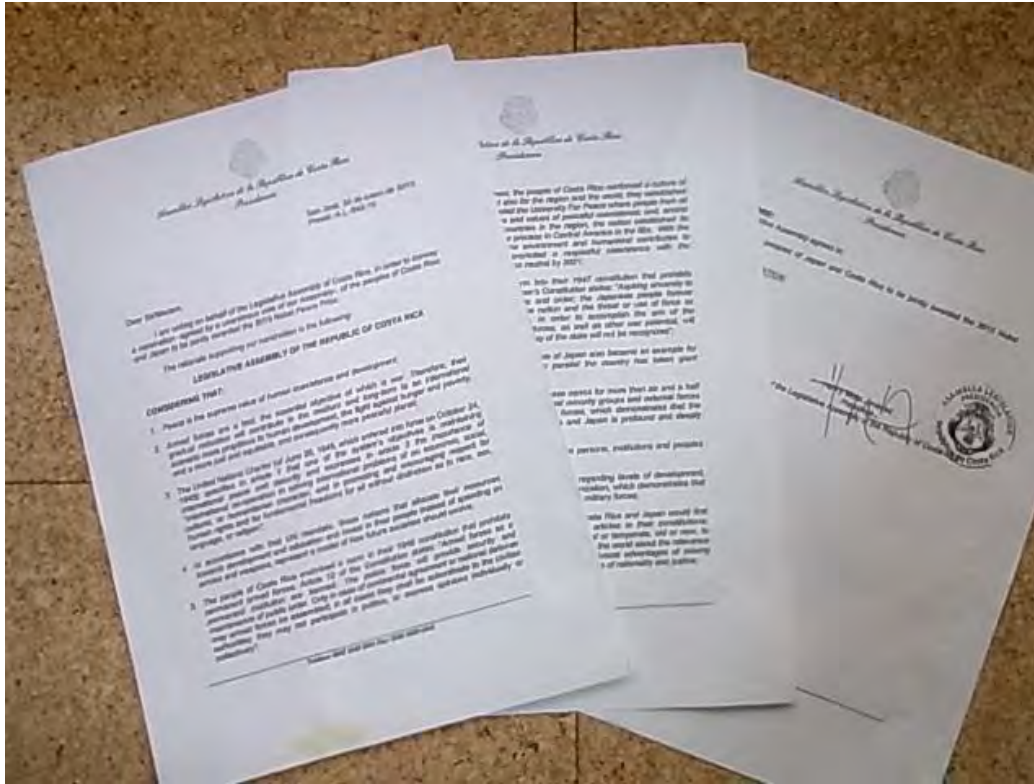
国会に市民参加課
カリブ海のマナティを
国のシンボルに
小学生2人の要望が法律になった



コスタリカ国会決議文

2015年1月

「長年、平和憲法を保っている
日本とコスタリカに、共同で
ノーベル平和賞を与えよ」



コロナ対策

先頭に立ったサラス保健相

東北大学大学院で博士号

弱者のための政策

水道料金を無料に



街頭の水タンク、給水車



コスタリカの感染者115万人

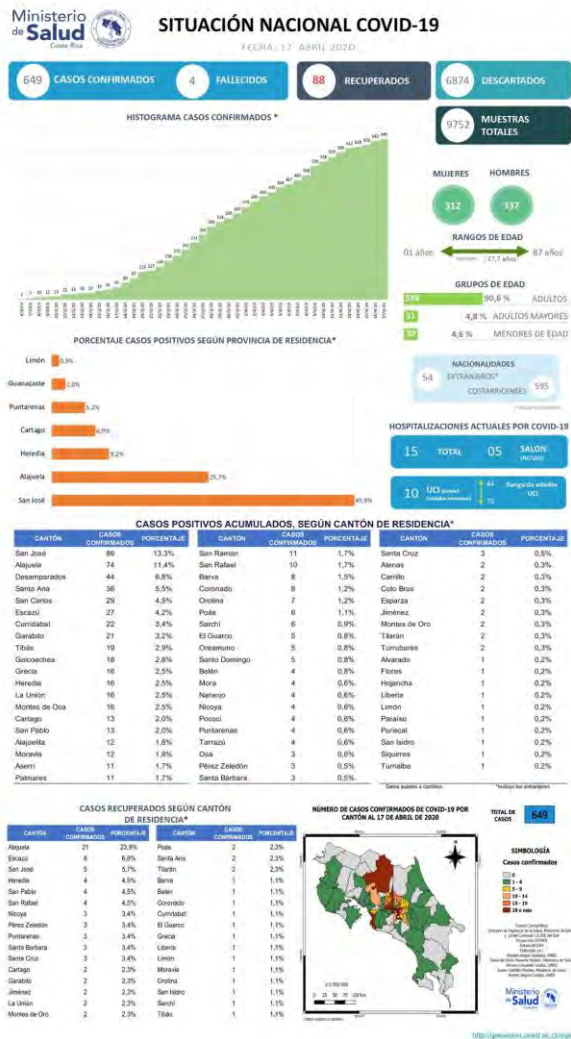
死者 9000人

致死率 0.8%

(メキシコ 4.6%

日本 0.2%

世界平均 1%)



北欧並みの社会保障制度

- 必要な人すべてに医療を提供する
- 1941年に社会保障公庫(英国より早かった)
- 健康保険料(本人5.5%、企業9.25%、国0.25%負担)を払えば医療費、薬代は無料
- ①総合医療基礎チーム(EBAIS)が1000以上
- ②地域の大病院
- ③国立の総合病院
- 平均寿命と乳児死亡率は先進国並み
- とはいえ、医師、病院が少なすぎる

環境保護の先進国

生物多様性の模範地域

- 地球の0.03%の国に6%の生物種、蝶は全アフリカ大陸より種類が多い
- エコツーリズムの発祥地
- 自然エネルギー99%、原発ゼロ

モンテベルデ自然保護区 「エコ・ツリーズムの聖地」 熱帯雲霧林



ロドリゴ・カラソ元大統領 「クラウド・フォレスト・ロッジ」 (雲霧林山荘)





モルフォ蝶

イグアナ

ハチドリ

ナマケモノ

アカメアマガエル



「世界一美しい鳥」 ケツァール



自然エネルギー大国

- 2017年の発電量

コスタリカ電力公社(ICE)発表

再生可能エネルギーが99.5%

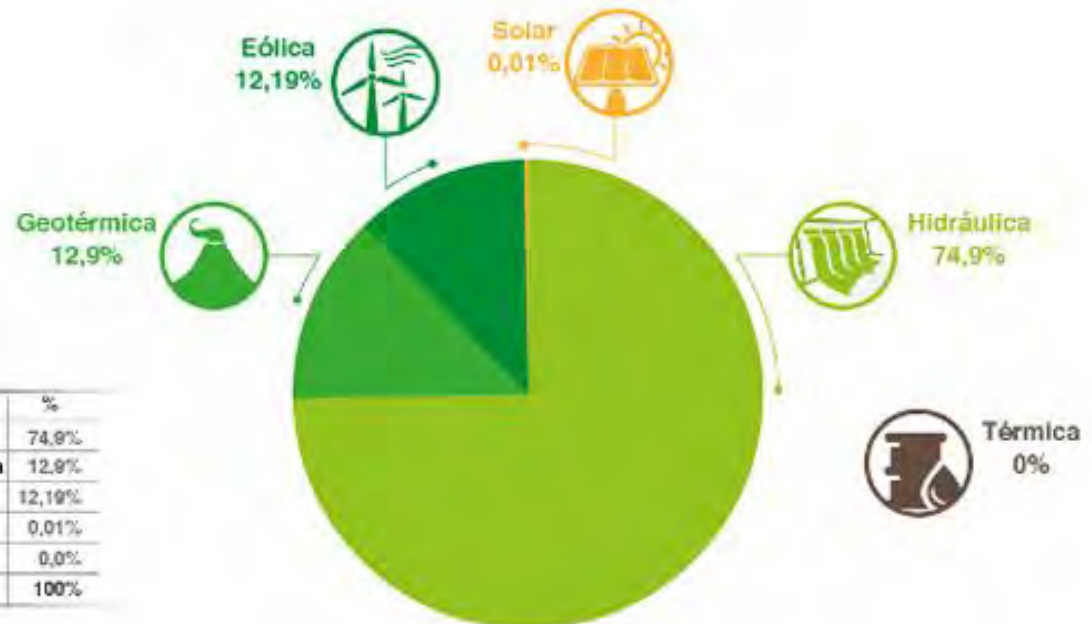
化石燃料の火力発電は0.5%

- 2020年に250日間、100%を達成

再生可能エネルギー100%達成 (2016年7月)



Electricidad en julio 100% renovable



FUENTE	%
Hidráulica	74,9%
Geotérmica	12,9%
Eólica	12,19%
Solar	0,01%
Térmica	0%
TOTAL	100%



グアナカステ県 ラスパイラスⅡ 地熱発電所

人に優しい国はこうして創られた

- 貧しい開拓移民が力を合せた、市民が創る対話型の社会、自由の尊重、階級や階層がない
→質素、儉約、勤勉、平等の気風
- 鉱物資源がなく、遠隔地でスペインの総督は視察に来なかった→自立意識が高まる
- 開明的な独裁者、権力者になると降ろした
→長い民主主義の実践
- 2大政党が社会民主主義を競って実践した

歴史の分岐点

- 1502年 コロンブスが来た、スペイン支配
- 1824年 中米連邦、清廉潔白な独裁者
コーヒー輸出で豊かな国に
- 1848年 正式に独立
- 1856年 アメリカ人の侵略者を撃退
- 1940年から2大政党 社会保障の確立
- 1948年 内戦、軍隊廃止を決定
- 1949年 平和憲法施行
- 1983年 永世・積極的非武装中立宣言

コスタリカの問題点

＜経済＞開発途上国で貧しい

道路が整備されない

工業化が遅れ、国民の所得は低い

貧富の格差が拡大＝米国・新自由主義の浸透

＜社会＞中南米で最も安全だったのに犯罪が増加

南米のマフィアが米国に麻薬を運ぶ通り道に

米国を目指す南米の難民の通り道に

市民は家を柵で囲むようになった

＜政治＞

現在の大統領はトランプのようなポピュリスト

こんにちは=Pura Vida!
プーラ・ビーダ=純粋な人生
だれもが「私は幸せです」と胸を張る

